


上海万博「愛知県ウィーク」参加アーティスト紹介①



■7月31日(土)～8月5日(木)出演

<p>実施内容</p>	<p>■ PiKA PiKA AICHI Project ペンライトで絵を描く光のイベント。県内各地の主要スポットを背景にして、県民参加で制作したアート映像の上映と、会場の来場者参加によるアートパフォーマンスを実施。</p>
<p>アーティストプロフィール</p>	<p>トーチカ (ナガタケシ、モノカヅエ) 「あいちトリエンナーレ2010」にも参加するクリエイティブユニット。 デジタルカメラによる長時間露出とコマ撮りアニメの手法を融合し、空中にペンライトの光でアニメーションを描くという画期的な作風の「PiKA PiKA」を展開。</p> <p>〈受賞歴等〉 2006年文化庁メディア芸術祭・アニメーション部門優秀賞 2006年オタワ国際アニメーションフェスティバル特別賞(カナダ) 2006年アヌシー国際アニメーション映画祭ノミネート(フランス)他 2009年5月 NHK「トップランナー」出演</p> <p>※「PiKA PiKA」の作り方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタルカメラを三脚に固定し、シャッタースピードを遅くする。 ②シャッターが開いている間に、空中に懐中電灯で花などを描く。 ③絵の形や場所を微妙にずらしながら何回も撮影を繰り返す。 ④撮影した個々の写真を連続して見ると、アニメーションのように見える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">セントレアで「PiKA PiKA AICHI」映像(仮編集作品)を放映!</p>

<p>実施内容</p>	<p>■AICHIコミカルパフォーマンス 次の催事コンテンツに向けての舞台転換の間、来場者に飽きさせることがないよう、愛知の文化や産業等を題材にして、クラウン(道化師)等が大道芸、パントマイムなどのパフォーマンスを展開。</p>
<p>アーティストプロフィール</p>	<p>クラウンパフォーマンス「プレジャーB」 大棟耕介氏が1994年に結成したパフォーマンス集団。 名古屋のスタジオを拠点に幼稚園、学校、商店街のイベント参加、テーマパークへの出演など幅広く活動。 愛・地球博では世界中のクラウン達を集めて「ワールドクラウンフェスティバル」を開催。 2006年にNPO法人日本ホスピタル・クラウン協会を立ち上げ、病院などでの活動にも力を入れている。</p> <div style="text-align: right;">  <p>プレジャーB</p> </div>

■7月31日(土)～8月1日(日)出演

<p>実施内容</p>	<p>■あいちトリエンナーレPRパフォーマンス アートパフォーマンスにより、「あいちトリエンナーレ2010」のPRを行なう。</p>
<p>アーティストプロフィール</p>	<p>あいちトリエンナーレPRパフォーマンス隊 (7月31日・8月1日の2日間出演) あいちトリエンナーレ2010の広報・PRのために緊急結成されたパフォーマンス集団。 アートプロデューサー齋藤敏明氏や演出家木村繁氏を中心としたパフォーマンスの専門家からなるアーティストチームの指導・訓練の下、3種類の異なるパフォーマンスを制作し、全国各地を巡回しあいちトリエンナーレ2010をPRしている。</p> <div style="text-align: right;">  <p>あいちトリエンナーレPRパフォーマンス隊</p> </div> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">6月19・20日セントレア出演!</p>



■7月31日(土)出演

<p>実施内容</p>	<p>■和太鼓演奏 愛知の豊かな自然と長い歴史は、様々な祭礼を生み出し、多彩な芸能を育んできました。地元の人々の手により守り、伝えられるそれらの芸能は、愛知の貴重な財産です。愛知の歴史と伝統を今に伝える伝統芸能を、エネルギーに披露。</p>
<p>アーティストプロフィール</p>	<p>和太鼓集団「志多ら」 愛知県東栄町を本拠地とし、和太鼓と篠笛を中心に国内外で活発な演奏活動を行っている和太鼓集団「志多ら」。 1976年に国の指定を受け、東栄町を中心とする奥三河に残る重要無形民俗文化財「花祭」に奉納する「志多ら舞」等を行なう。 「志多ら」は国内外の公演活動(2009年年間公演数:16都府県22公演(予定含む))のかたわら、多くの小中学校での演奏活動や太鼓指導を通じて花祭の継承にも力を注いでいる。 ※「志多ら」の主な国外での演奏活動歴 1999年 ノルウェーにて、セントオルヴフェスティバル・ノールランド音楽フェスティバルに出演 2002年 スウェーデンのダーラハーラ、及びノルウェーのモルデジャズフェスティバルでノルウェーのジャズバンド「ブラズ・ブラザーズ」と共演 第1回東京国際和太鼓コンテスト最優秀賞受賞(組太鼓部門一般の部) 2003年 韓国始興市にて、韓国伝統音楽パフォーマンス集団「コトウセ」と共演 2006年、2007年にも共演 2006年 アメリカツアー(ロサンゼルス他で6箇所にて公演) 2008年 アメリカツアー(6州18か所にて公演)</p> <div data-bbox="354 1003 1366 1402"> </div>

上海万博「愛知県ウィーク」県民参加団体紹介①



■7月31日(土)出演

出演団体名	出演団体紹介
<p>ダンススタジオ アリン</p> <p>6月19日セントレア出演!</p>	<p>ダンススタジオ アリンは小学生を中心に華麗なHIP HOPダンスを発表会や各イベントで披露するため、毎週練習している。また、ダンスに応じて初級者から上級者にクラス分けを行い、3才から中学生までの年齢に合わせ楽しく踊っているダンスチームである。ダンス活動を通じて、みんなで力を合わせてひとつのものを作り出すHIPHOPダンスの感動を世界の人々に披露し、友達の大切さ、仲間の大切さを伝えていく。</p> 
<p>CJCカラーガードクラブ 「フラワーエンジェルス」</p> <p>6月20日セントレア出演!</p>	<p>「フラワーエンジェルス」は豊明市在住の子どもたちによるカラーガードクラブ。「カラーガード」とは、もともとカラー(国旗・県旗・大会旗や隊旗等のシンボル旗)をガードする(護る)者という意味です。その旗を操作するしぐさが、きびきびとしていることから、マーチングにも取り入れられています。美しい旗(ガードポール)を曲や演出にあわせて自由自在に扱い、ダイナミックで色彩感溢れる集団美は観客を魅了します。</p> 
<p>琴「ふじの会」</p> <p>6月20日セントレア出演!</p>	<p>愛知万博での琴演奏を目指して、2002年に設立した団体(2003年江南市文化協会加盟)。江南市を始め県内各地の琴奏者がメンバーとなり、愛知万博、サラゴサ万博に参加。中国から伝来し日本の伝統楽器として培われてきた胡弓、琴の音色を基調に、尺八を加えた合奏曲を演奏。特に愛知県を中心に伝承されてきた検校曲を中心に選曲。愛知万博、サラゴサ万博での出演参加の実績を活かし、日本の伝統曲を愛知から世界へ発信。</p> 
<p>日本甲冑武者隊</p> <p>6月20日セントレア出演!</p>	<p>愛知県内の甲冑愛好者によるボランティア組織。犬山市秋祭り、江南藤祭り等のイベントに参加し地域おこしに協力するかたわら、名古屋市の日サンゼルス友好提携記念イベントに参加するなど海外での実績も重ねている。</p> 
<p>NPO法人 GハーモニーABCDE</p> <p>6月20日セントレア出演!</p>	<p>中国の伎楽を祖とし、1300年の時を越えて日本の伝統芸術として育まれてきた「雅楽」。雅で高貴なイメージはもちろん、伝統的な楽器が奏でる音色とリズム、そして楽師が身に着ける衣装など、目と耳で日本古来の大切な伝統を堪能していただけます。</p> 



上海万博「愛知県ウィーク」県民参加団体紹介②



■8月1日(日)出演

出演団体名	出演団体紹介
<p>愛知県立芸術大学 ウインドオーケストラ</p>	<p>2005年EXPO愛・地球博の会場となった愛知県長久手町の広大な森の中にある愛知県立芸術大学は、1966年の開学以来、美術学部と音楽学部を有する日本有数の総合芸術大学として多くの芸術家や演奏家を輩出している。 ウインドオーケストラは1989年に設立。多くの招待演奏会や10回の定期演奏会を開催し、毎回好評を博している。今回、愛知県と江蘇省友好提携30周年記念事業として南京芸術学院と合同演奏会を行うとともに、上海の地で万博精神を継承する特別演奏会を行う。</p> 
<p>西川まさ子 ダニー・シュエッケンディック 辻井亜季穂 長久手町文化協会</p>	<p>■西川 まさ子 西川流三世家元。西川右近の長女。名古屋市生まれ、長久手町在住。1999年TARG賞、2002年都市文化奨励賞受賞、2007年愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。日本の伝統芸能の継承と、舞踊による国際交流に力を入れている。現在、名古屋音楽大学特別講師、名古屋モード学園講師、日本舞踊協会委員、スターキャット番組審査員などを務めている。</p>  <p>■ダニー・シュエッケンディック ジャズピアニスト。アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ生まれ、長久手町在住。26歳でジャズピアニストとしてプロデビュー。アメリカ西海岸でのライブ活動を皮切りに、コンコード・ジャズ・フェスティバルへの出演、ヨーロッパツアーを経て1988年から日本で本格的に演奏活動を開始。現在、名古屋芸術大学、ヤマハミュージック名古屋講師。</p>  <p>■辻井 亜季穂 ソプラノ歌手。大阪府生まれ、長久手町在住。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部音楽科卒業。第5回長久手国際オペラ声楽コンクールにて特別賞を最年少受賞。第63回全国学生音楽コンクール大阪大会声楽部門大学・一般の部 第1位。同コンクール全国大会声楽部門大学・一般の部 第2位。現在、愛知県立芸術大学大学院研究科前期課程1年在籍。</p>  <p>■長久手町文化協会 長久手町における文化活動の振興と会員相互の親睦、交流をはかるとともに、広く町民文化の向上に努めることを目的に1980年設立。会員数460人(平成21年度現在)</p>



■8月2日(月)出演

出演団体名	出演団体紹介
<p>島文楽保存会</p>	<p>慶応3年(1867)に現在の一宮市大毛の村人が、岐阜市芥見加野白山の渡辺常助から金7両で人形を買い受けた。しかし、若者たちが人形芝居に熱中し農事を顧みないので、2、3年の後、隣村であった島村へ人形を譲ったのが島文楽の始まりである。譲った事情については、大毛の若者の芝居が下手で、岐阜座に劣るため譲ったという記載も残っている。現在の人形は、明治初年に岐阜座(東伝寺)から金60両で買ったものや、名古屋の朝比奈某から購入した天保6年(1835)の3体を含め百数十体になる。島文楽は明治、大正、昭和初期にかけて10余名で伝承され、昭和初期には「人形浄瑠璃連中」「嶋人形連中」という仲間があったようである。これまで手がけてきた外題は、「三番叟」「壺坂靈験記」「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」「絵本太功記十段目」「伽羅先代萩御殿の段」「八百屋お七」などである。現在は、小学校などでの公演をはじめ、文楽の普及活動も積極的に実施。</p> 
<p>六ツ師獅子舞保存会</p> <p>6月19日セントレア出演!</p>	<p>江戸時代末頃から六ツ師に伝わる獅子舞で、嫁獅子ともいわれ、地元はもちろん村外でも演じられた。戦後途絶えていたが、平成2年に地元の古老の熱意で復活。愛知万博に参加。2008年には中国上海市普陀区で招待公演も実施。演目には、「さがりは」「おめさ」「幣の舞」「傘の舞」があり、子どもたちも入り、保存会により伝承されている。</p> 



上海万博「愛知県ウィーク」県民参加団体紹介③



■8月3日(火)出演

出演団体名	出演団体紹介
<p>平安桜 (HEIANZAKURA)</p> <p>6月19日セントレア出演!</p>	<p>オカリナと三味線で、自然界への感謝の意を含め、悠久からの時の流れを鮮やかに音で表現するユニット。 「自然環境で揺れる現代、自然の大切さを少しでも多くの人に伝えたい。」というコンセプトが合い重なり、日本の美しい自然や文化をイメージさせるコンサートを国内外で実施。愛・地球博では長久手会場、ささしまサテライト会場、オアシス21で演奏を披露。 2008年オリジナルアルバム「平安桜」を発表し全国のお祭り、イベント、コンサートホール、ライブハウスなどでプロモーションを展開。</p> 
<p>流行発信CHUBU</p>	<p>県内のヘアクリエーターなどが集まり、名古屋独自の感性を生かしたファッションを探ろうとするグループ。愛知万博ささしまサテライト会場にも参加。</p> <p>■上野 和彦(うえの かずひこ) ヘアクリエーター・理学博士。1952年、新潟県生まれ。 1975年、名古屋市内にクリニックサロン「サン・ヘアー中部」を開設。 また、日本熱傷ボランティア協会を設立し、初代会長に就任、事故などで髪に障害を負った人々の社会復帰のために尽力している。 一方、各種ヘアファッションショーやテレビ・ラジオ番組などにも多数出演、国内外のコンクールの特別審査員に選ばれるなど、ヘアクリエーターとしても活躍中。厚生労働大臣表彰受賞、愛知県優秀技能者表彰受賞、名古屋市優秀技能者表彰受賞。</p> 

■8月4日(水)出演

出演団体名	出演団体紹介
<p>知立山車文楽保存会 山町人形連</p> <p>6月19日セントレア出演!</p>	<p>江戸時代から始まり、250年余の歴史がある知立山車文楽の保存会の構成団体。愛知万博の山車百輛総揃えにも参加。 国指定の重要無形民俗文化財である知立山車文楽を上演。 毎年5月に行われる知立祭で山車の上で上演される文楽を舞台で披露。3人遣いによる人形、義太夫、三味線により物語を演ずる。 演目は、30分もので「日高川入相花王」、15分もので「寿式三番叟」「八百屋お七」などがある。</p> 
<p>TEAM対話パフォーマンス</p> <p>6月19日セントレア出演!</p>	<p>愛知万博で、様々な市民プロジェクトに参加した県民が、2008年のサラゴサ博覧会への参加をきっかけにして結成した団体。 古代から伝わる天然染色植物「紅花」伝来を題材に、異文化・世代を超えた自然の恵の伝承寓話を創作。 また、シナリオ・映像・音楽も市民の創作によるもの。ステージは、草木染めの幕と生け花で装飾。</p> 

■8月5日(木)出演

出演団体名	出演団体紹介
<p>特定非営利活動法人 愛・地球子どもクラブ</p>	<p>子どもたちが「地球の未来と世界の平和」を考え、その想いを発信するため、愛知万博で第1回「地球子ども会議」を開催。その後も、その理念を上海万博につなぐべく、活動を積み重ねてきた団体。「地球子ども会議」は青少年による平和宣言発信の場として毎年開催し、趣向を凝らした発表と青少年の真摯な想いは感動を呼んでいる。 今回は、寸劇やスピーチ、合唱に加え、日本と中国の民族音楽・衣装を交えた多彩なステージを構成。フィナーレでは、次代を担う日中の青少年が交流の中で得た世界平和に向けての熱い想いを「地球子ども会議」オリジナルテーマソングに乗せて、全世界に向け発信。</p> 
<p>豊田工業高等専門学校 「おいでん踊り」団体</p>	<p>■ロボット実演 「アイデア対決・全国高専ロボコン2009全国大会」において優秀な成績を修めるとともに、「安定した二足歩行と人間らしい動きを実現したこと」が評価され、「技術賞」を受賞した豊田工業高等専門学校の学生が製作したロボットによる実演を披露。</p> <p>■おいでん踊り 豊田市の最大イベントとして「市民が楽しみ、感動し、訪れる人々を暖かく迎える」をテーマに毎夏開催される「豊田おいでんまつり」。そのまつりのメイン事業で、市民が編成する「踊り連」が思い思いの衣装と振り付けで踊る「おいでん踊り」を披露。</p> 